

3年女子

今回三陸海の盆に参加してとても貴重な体験をすることができました。

私は国際交流会のコーヒーブース担当でした。その時にみなさんとした会話を通して、気仙沼に住む人たちの心はとても明るく心の綺麗な人ばかりだと感じました。彼らの陸前高田の震災のボランティアについても話を聞きました。また陸前高田で実際に被害を受けた商店の人の話も聞きました。壮絶でした。しかしみな復興に向け未来に希望を持ち生きてるんだと思いました。

また、震災当初からフランスから来ているボランティアの方とお話をさせていただいたときに、毎年来ているフランス人女性の方の活動やフランスの執筆家が日本の震災についてフランスで本を出していることを知って、国を越えて日本は支えてもらっているんだと実感しました。

遠野まごころネットでの2泊3日の生活は、まごころネットのみなさんの優しさそして井上さんの熱心な説明や取り組みなどによってとても充実した2泊3日になりました。とても感謝しています。今回の三陸海の盆で幸せの黄色い短冊にたくさんの幸せの願い事が書かれていました。みんなの願い事が叶うように復興が進むようにみんなの辛い記憶の支えになれるように、もっとこれからもボランティアをし続けたいと感じました。

2年女子

私は高校生になって今回初めてボランティアに参加しました。震災があつてからの岩手と宮城の様子は今まで画面でしか見たことがありませんでした。実際見るとまだ沢山の仮設住宅や津波で流されてしまったような家の土台や壊れたままの学校があつて驚きました。

11日の三陸の盆では場内誘導係で、来た方々にパンフレットを配る係でした。ボランティアの人達でパイプ椅子を並べたり、テントを組み立てたりもしました。名前も知らない人達と活動しましたが人の役に立ちたいという気持ちをみんな持っていて、みなさんとても優しくかったです。とってもいい気持ちで過ごせた一日でした。

この三日間お弁当を作ってくくださった方々やバスを運転してくださった運転手さん、まごころネットの方々や地元の方々、つれていってくださった先生方など本当に沢山の方たちにお世話になりました。私ももっと誰かのために何かしてあげられるように新聞や本で色々なことを調べたり、もっと色々なことにチャレンジしたいと思いました。

3年女子 三陸海の盆のボランティア活動を通して

私は復興ボランティアに参加するのは今回で2回目でした。

一昨年行った時、震災直後のような感じでしたが、今回見ると少しは復興してきているのかなと思いました。

初めてお祭りのスタッフ側としてのボランティアをしてみて、人と人との関わりや繋がりが大切で、協力しあつて全部成り立っているとわかりました。

三陸海の盆は8月11日、震災から4年5ヶ月の月命日でした。14時46分にみんなで黙祷しました。震災のことをこれからもずっと忘れずに、1日でもはやく復興できるように支援していきたいとおもいます。

3年女子

私は被災地でのボランティア活動は今年で3年目になります。去年一昨年は陸前高田市での花壇作り、整備でした。今年は気仙沼でのお祭りのボランティアということで、初めて現地の方々とふれあいました。皆さんすごく明るく元気で、一緒に活動していて笑顔が絶えませんでした。今回のこのボランティアは私にとってとても貴重で価値のある体験となりました。来年は自分でこのようなボランティアを見つけ参加したいと思います。また、全国各地からボランティアの方々が来ており、東北に住んでる者としてはとても嬉しく思いました。これから私はボランティアに参加すると共に、東日本大震災のことを忘れないように発信していけたらと思いました。

被災地がもっと大勢の人の笑顔で溢れることを祈っています。

3年男子

今回三陸ボランティアを経験して私が得たものはコミュニケーション能力です。

なぜかというところのボランティアは三沢高校生だけではなく、全国の各地からいろいろな人が集まり三陸の祭りの手伝いをするということだったからです。

私はこの祭りを成功させることに一番必要なことは、ボランティアの人たちや地元の方々と協力し合うことだと思いました。

なので私は自分から積極的に話しかけることで、他県の方々とたくさん話しをすることができました。

話の中で自分の知らなかった他県のいろいろなことや言葉を知ることができてとても自分も成長できたなと思いました。

私はボランティアは人を助けるだけでなく、自分が成長するために必要な物がたくさん詰まってると思いました。

とても楽しかったです。

3年男子 volunteer をやってみて

三陸海の盆のボランティアをやってみて、ボランティア活動とはとても大変だけど、本当に充実したものになるとわかりました。

ここに来ないと出来なかったであろうことをたくさん経験することができ、

数多くの事を学ばせていただきました。

参加した自分が関わってくださった皆さんに深く感謝しています。本当に毎日学ぶ事だらけで、人はみな一人では何もできず、一人では生きていけないちっぽけな存在ってことを気づかされました。

だけど、力を合わせる事で大きな力になり、支えとなる事も学びました。

また機会があれば、積極的に参加して行きたいと思います。

2年女子

私は今回初めてボランティアに参加しました。三陸海の盆では、参加する人もボランティア活動で来た人も、よく話しかけてくれる人が多くとても良い活動になりました。ささいな仕事をしただけでも「ありがとう」や「お疲れ様」などと声をかけてもらいとても嬉しかったです。このボランティア活動はたった1日でしたが、この1日でたくさんの人と接することができとても達成感を感じました。三陸海の盆は震災の悲劇を永遠に忘れないことを目的として開催されたことを知りました。私たちは今まで通りの生活を送ってますが、被災地の人には地震の痛手を何年も続くのかと考えるとこのボランティアはとてもいい経験になったと思います。また機会があったらボランティアに参加したいです。

3年女子

今回初めて震災が起こった場所を訪れ、何もなくて土だけになった所を通ったとき言葉が出ませんでした。

三陸海の盆では気仙沼の方をはじめとして海外から来ている方や滋賀県などいろいろな場所から来た方々と関わることができました。炊き出し係の方々はとても親切・フレンドリーで愛情を感じ、また会いたいと思いました。2時46分にみんなで黙祷をしたときあの日の恐ろしさを思い出し黙祷してる間ずっと鳥肌がたっていました。

次、大きな地震がきたときは同じ間違いをせずたくさんの方が助かって欲しいと強く思いました。その土地の郷土芸能を見ることができたのもとてもよい時間でした。私の中では神止七福神舞が心に残っています。

このボランティアを通して、人と人の関わりがとても大切なんだと気づくことができました。来年の三陸海の盆にも参加したいと思います。

3年男子

ぼくが三陸でのボランティアのために遠野市のまごころネットで2泊3日して感じたことは、見返りを求めず人と人との繋がりを大事にしみんなでひとつのことに取り組むことの素晴らしさです。

三陸海の盆では、テントの設置から交通整備まで、さまざまな仕事を通していろんな地方から来た人や地元の方々とふれあい、絆を深めよい達成感で終わることができました。

そして宿泊きた遠野まごころネットでは東日本大震災の恐ろしさと、被災された方々への追悼の念を再び思いださせていただくことができました。

このボランティアで関わったすべての人との素晴らしい出会いにも感謝しております。

いつかあの場所にまた行きたいと思わせられる非常にやりがいのある楽しいボランティアでした。本当にありがとうございました！

3年女子

今回、三陸海の盆に参加して様々なことを感じました。

わたしは炊き出し係として豚汁を作ってボランティアの方々に配布するお手伝いをしました。また月命日ということで献花と黙祷が行われました。周囲の方々は何をすることも笑顔で被害の大きさを感じさせないものがあり、わたしも楽しくボランティアさせていただくことが出来ました。初めて被災地を訪れ、かつて住宅地だった場所が土やがれきと化していたのを見てこの世で自然災害が一番怖いと感じました。しかし津波によって全て流され、被害が大きかった気仙沼が約二年でここまで復興出来たことに驚き、感動しました。

今回のボランティアで人と人とのコミュニケーションが大切だと実感しました。一つの場所に集まって平等に楽しむことで繋がりの輪が広がり笑顔が絶えない環境が作られると思います。機会があればまた参加してみたいです。

3年男子 三陸海の盆

私は将来被災地での復興、まちづくりをしたいと考えていました。

そのため今回ボランティア活動に参加しました。

しかし、今回ボランティア活動に参加して遠野まごころネットさん方のお話を聞き、被災地での復興の大変さを知ることができました。

仮設住宅で生活している人の憩いの場のカフェや野菜を育てるための畑、グラウンドが全て仮設住宅でいっぱいになり遊ぶ場を失った子供達のために芝生のグラウンドを作ったりなどたくさんの方々の復興をしているとわかりました。

私は将来のためにたくさん勉強することができました。

三陸海の盆では気仙沼の地元の方々の優しさを感じるすることができました。

被災した人達とは思えない程みなさん優しく明るかったです。

私はこのボランティア活動を通して

ボランティア精神といつでも明るく優しくというのを学ぶことができました。

大学生になってもボランティア活動に積極的に参加したいと思いました。

2年女子

被災地と、多くの人に触れて

私は、今回初めてボランティアに参加しました。あの震災から四年以上経ってから、初めて被災地を実際に見ました。未だ仮設住宅に住むことを余儀なくされている被災者の方々がたくさんいること、土地のかさ上げの為に巨大な機材、そして、かさ上げをしているため、ほとんど建物が見当たらない土地...。被災地の現状と、かつての状況を見聞きして、私は言葉を失いました。

復興に関しての現地の方々の思いも、私が考えていたものとはかなり違って、今回ここに来ていなかったら、誤解したまま、生半可な理解のままだったんだと気づかされました。

「この大きな町が飲み込まれるのに、五分もかからなかった」

ということも聞きました。にわかには信じがたい話でした。あの時の大津波の強大さが、テレビや写真で見てきたものと相まって、強い恐怖を感じました。

海の盆当日のボランティアの作業では、舞台係を担当しました。初めのうちはどうしていいものかわからず右往左往していましたが、吹奏楽部の打楽器運搬、舞台セットと似たようなものだと考えると気が楽になり、だんだん自分から声をかけていけるようになりました。さらに出演者さんたちだけではなく、今まで知らなかった子にも話しかけて、仲良くなることができました。やはり途中で多少のトラブルはありましたが、出演者の皆さんとの会話や、全員が協力しあっている作業は、大変で、そしてとても楽しかったです。また、地域の伝統芸能を間近で見ることができ、とてもいい機会になりました。

私は、このボランティアに参加して、人間的にかなり成長できました。今まで知らなかったことをたくさん知識として吸収し、多くの人に接することで、また今までとは違う考えも知りました。自分の知らない場所で、知らない、そして自分とは全く違う人と協力し、触れあうことが、私にたくさんのことを教えてくれました。このボランティアに参加できたことを心から誇りに思います。

いつかまた、参加できる機会があれば、その時は今回のことをフル活用して、少しでも多く誰かの役に立ち、さらに成長していきたいです。

3年女子

ありがとうございました！

正直なところ被災地の現状も知らないまま、私はボランティアに参加しました。

バスでの移動の時、震災のことについていっぱい話を聞きました。想像もつかないようなことや、ビックリすることばかりでした。同じ東北に住んでいながら震災のことをあまり知らない自分が本当に恥ずかしくなりました。実際に被災地を見ると何もなくて新しく街を作り始めたばかりでこれから長い年月がかかりそうだなと思いました。ボランティアでは炊き出し班のお仕事をしました。地域の人達は本当に優しくユーモアがあって楽しかったです！豚汁は独特な味で本当に美味しかったし、ボランティアの方々との交流ができました。地元の伝統芸能も見れていい文化だなと思いました。何よりも地元の方々ボランティアの方々が常に笑顔でいることがすごいと思います。この笑顔は強い心を持ってないとできないことだと思います。

貴重な体験ばかりで新鮮でした。自分も復興に携わっていきなりたいと思います！心うたれた3日間でした。楽しかったです！ありがとうございました！

2年女子

私が被災地のボランティアに参加したのは今年で2回目になります。去年と比べがれきの撤去などは進んでほとんど終わりに近づいていましたが、元の生活できる程度まではまだ全然復興されてなくて被害が酷かった地域はまだ震災の時の傷跡が残っているところもありまだ支援し続ける必要があると感じました。まごごろネットの井上さんの話を聞いて、最近はボランティアに参加する人が震災時よりだんだん少なくなっていると聞きました。東北外や被災地より遠い人たちは

「あれからもう4年もたってるから支援するほどでもないだろう」と考える方が多いと思います。しかし、津波や地震の影響は思ってる以上に大きく、たくさんの人、物を傷つけ今もまだその跡があります。だから、私は来年も大人になっても復興へ協力していきなりたいと思いました。今回のボランティアで多くの人に関わり、接して、私の担当の舞台の大道具などの出し入れを通して、大変なことも多くありましたが誰かのために働き「ありがとう」などと言われることの嬉しさを改めて実感することができました。このことから誰かのために何か動くこと、気配りすることなど大変さ楽しさに気づき、自分も誰かのために動ける人になりたいと思いました。このボランティアに参加し、たくさんのことに気づきいい経験ができたと思います。また機会があったら支援し、復興に少しでも役立つように頑張りまいると思います

2年女子 ボランティアへの思い

わたしは今回、初めて被災地へのボランティアに参加しました。被災地に特別な思いがあるわたしにとって、いいボランティアだと思い参加しました。

わたしの祖父母は岩手県釜石市に住んでいます。震災から1ヶ月後に行った釜石市は、わたしが小さい頃から慣れ親しんだ街ではなく瓦礫だらけのボロボロな街でした。身近に被災地との縁があるからこそ、力になりたい気持ちが大きくて個人で何回もボランティアに訪れました。

今回は、「三陸海の盆」というイベントを通して被災地の方々と直接触れ合い、震災に負けない強さを感じました。個人ではなく集団で、チームで復興に向かっていく姿を見たときこの先も元通りの街になるまで進んで協力したいと思いました。

まごころネットの皆さんの復興に対する思いに感動しました。まごころネットにいるスタッフさんたちは皆さん、わたしのなりたい人そのものでした。

このボランティアで色々な人に出会い、助けられました。わたしが一番印象に残っている出来事は被災者さんからの「ありがとう」です。心が温かい人ばかりだったので、スムーズに仕事できました。わたしこそ感謝です。2泊3日という短い時間でしたが、得られるものが多くて内容の濃い時間でした。

1回きりのボランティアではなく、何回も何回も参加して被災地復興に協力したいと思いました。ボランティアに参加して本当によかったです、ありがとうございました。

2年女子

私はあまりボランティアなどに参加することがなく、今回初めてイベントのお手伝いをさせていただきました。イベント場所までの移動中に聞いた話は、ニュースで聞くよりも多くのことを知ることができ、あまり実感がわかなかった津波の惨状を改めて感じました。イベントに関しては、ボランティアで参加している私たちに明るい笑顔で挨拶をしてくれたり、お疲れ様と言ってくださる方々がいて、地域の人々の優しさがとても嬉しく思いました。また、同じ係の方々もとても優しくしてくださり、私たちの体調を気遣って声をかけてくれたり、早めに当番の交代をしてくれました。イベントの途中で行った献花や黙祷は、参加者全員が津波の被害で亡くなった方々をいたわっていることがわかりました。最後に聞いたバイオリンと小学生の歌がとても良かったです。帰る途中で寄った銭湯は津波の被害にあったけれどもおばあちゃんが明るく営業している様子を見て、私も頑張ろうという気持ちになりました。今回のボランティアで学んだこと、地域の皆さんの優しさに触れたことは絶対に忘れないようにしようと思います。良い経験が出来て良かったです。

2年女子

今回ボランティアに参加して、一番学んだことは「命の大切さ」でした。みんなで2:46に海に向かって黙祷しているとき、震災のたくさんの被害にあった人たちや、亡くなられた人たちのことを考えさせられました。自分の家族や友人を亡くして独りぼっちになってしまったひとたちのことも考えました。どんなに悲しくて辛いのかと思いました。それに比べて自分は家族も友達も誰一人なくしていなくて、自分の幸せに気づいたら涙がでてきました。もっともっと家族や友達を大事にしようと思いました。亡くなった人たちの分も精一杯生きようと思いました。

ボランティアの仕事では、テントをたてたり机や椅子を運んだり、料理の手伝いをしたりと、大したことはできなかったかもしれないけれど、少しでも役に立てたらよかったです。ボランティアを通して、いろんな地方から来た方々や、外国の方々との交流もありました。言語が違って、被災した人たちのために役に立ちたいという気持ちは同じなんだな、と思いました。

宿泊先では、人数が結構いるので、ほかの人を優先したり、自分のことは早く済ませてすぐ次の人に場所をわたしたりと、気を遣って行動することを心がけました。ご飯を配ったり、片付けも自分から進んでやることができました。

今回のボランティアは、マナーから命の大切さまで、本当にたくさんのことを学びました。参加して本当によかったです。少しでも役に立てて本当によかったです。これからは誰かの役に立てるようにボランティアに進んで参加したいです。

定時制 3年男子

今回私は、気仙沼でのボランティア活動は初めて行いました。なので、どういった場所なのか・どのような仕事をするのか最初は正直言ってよく分からなかったです。ですが担当の方が説明してくれたおかげで、来てくださった地元の方や観光で来てくださった方達をうまく誘導することができました。その中で多くの方達と出会いました。一番印象に残っているのは、わざわざ島根県から引っ越して来られてそこの地域のために働かれている方がいたことでした。被災地のために自分ができることを精一杯やられているという事が凄いと感じました。私もこれから出来ることがあればまたボランティアに参加したいと思いました。

3年女子 後世に受け継ぐ

実際に2011年から約4年経って、初めて現地に来て、いろいろな方のお話を聞いたり、街の様子をみたりして、テレビで放送されるニュースからは得ることのできないことがたくさんありました。印象に残っているのは復興というのは、もとどおりにすることではなくさらに上を目指すことであるということです。実際に現地の方と触れ合っるとてもパワフルで優しいという印象を受けました。家族を亡くしたり辛い思いをした方々が、明るく前を向いている姿がとても素敵に見えました。私たちのボランティアはこれで終わりではなく実際に見たこと聞いたこと感じたことを次の世代に受け継いでいくことだと思います。

良い体験ができたこと、素敵な方々に出会えたこと、すべて感謝します。

2年女子 ボランティアを終えて

8月10日から12日まで、宮城県気仙沼市の復興ボランティアに参加してきました。

1日目は、震災が起こった時の状況のお話を聞きました。今私たちは、普通に生活をする事ができていますが、震災にあい、家を亡くした人達はまだ、仮設住宅に住んでいたり、学校が流され、学校にいけない子供達がいったり、してまだ完全に復興していないことがわかりました。その当時は、水、電気、ガスが止まり、みんなが1日を生きたことが大変だったことを聞いて、本当に大変だったんだなあと感じました。

2日目は、気仙沼の盆祭りのお手伝いとして参加しました。そこでは、いろんな地域の伝統芸能を披露していました。ボランティアに参加した人達は、私たちだけでなく、たくさん遠くから来ている人たちばかりでした。地元の人たちが、一生懸命準備をしているのを見て、私も頑張ろうというパワーをもらえた気がしました。震災にあったからこそ、みんなでまとまろうとする絆が自然に生まれたんだと思います。みんな笑顔で頑張っていました。私は、岸壁警備をしましたが、周りの大人たちが、気を使ってくださり、水を持ってきてくれたり、ご飯をもってきてくれたりしました。そうゆう姿を見て私も、誰かのために手を差し伸べてあげられる大人になりたいなと思いました。伝統芸能を見るのははじめてだったんですけど、それぞれの特徴があり楽しむことができました。

最後に、このボランティアを通して、人との繋がりはとても大切なんだなあと思いました。誰かが困っている時、知らないふりをするのではなく、一緒に解決できるような人になりたいです。今日の経験は充実した素晴らしいものになりました。

1年女子 はじめてのボランティア

1日目は、多田さんのお話を聞いて、被災したことをチャンスと考える考え方に驚きました。そういう前向きな思考で復興作業に取り組んだからこそ、まごころネットに人が集まったのだと思います。

2日目はいよいよ三陸海の盆でした。私は、舞台の荷物の運搬係でした。先輩方と頑張っって出演者のみなさんのサポートをしました。その過程で、声をかけてくださった先輩と仲良くなる事ができました。そのおかげで、一人だけの一年生で感じていた孤独感から抜け出す事ができま

した。また、昼食をとっていたとき、近くにいらっしゃったおばあさんたちが、私と先輩にお茶をくださったとき、人の心の温かさにふれられたな、と思いました。

ボランティア作業中、たくさんの人と出会い、みなさんの温かさにふれ、私自身も「ありがとう」をたくさん言い、言われました。今まで漠然としか感じていなかった「縁」や「思いやりの心」をはっきりと感ずることができました。今回のボランティアに参加できたことは、私の人生のいい経験になりました。このボランティアに参加して良かったです。来年は、できれば友人を誘って参加したいです。

最後に、ボランティア中、私を支えてくださったすべてのみなさんへの感謝を述べて終わろうと思います。

ありがとうございました。

2年女子 初めての経験

今回のボランティアに参加しようと思った理由は震災後の様子、そしてどのくらい復興が進んでいるか1度も私の目で実際に見たことがなかったからです。また、少しでも役に立ち、知ることでも何か自分のプラスになればと思いました。

実際に気仙沼の盆祭りボランティアはやりがいがあると感じました。私は岸壁警備係をやり実際にここの海が津波としておこったんだなあと感じながら、ボランティアを行っていました。4時間ただただ黙って海に人が落ちないかみはるだけでしたが、いい経験となりました。黙祷もきちんとできて良かったです。1日のボランティアでしたが、自分の仕事に責任をもって行動できたことが1番良かったことだと思います。また、震災についてもその場に行き実際に行動できて良かったです。この経験をこれからの進路に生かしていきたいとおもいます。

2年男子 3日間を振り返って

はじめに、遠野まごころネットに到着したあと地元の方に話を聞きました。

そこで「最大のピンチが最大のチャンス」

と、前向きな言葉をおっしゃっていました。

また、ボランティアの方が全国や世界から

来ているとおっしゃっていました。

「誰かのために尽くす」ということは

本当に大切で、なくてはならないことだと思います。

今回の復興ボランティアで最も印象に残っているのは、地元の方々の温かさです。

皆明るくパワフルで、私達の方が元気づけられた気がします。

東日本大震災で大事な家族や友人を

なくした方や、自ら被災した方々が

毎日笑顔で頑張っていると考えると、

自分も、何事においても努力しないと

いけないと思いました。

気仙沼や遠野で、とてもよい出会いができて

本当に良かったです。

またこのような機会があったら必ず参加します。

2年女子

今回三陸復興ボランティアに参加してみて、震災当時の話をきいて、自分たちが知っていることは本当に一部の事だけで、知らないことのほうが多く、トイレや風呂の問題、女性の被害があったことなどを聞いて、本当に怖くなりました。また、感じたことは気仙沼の方たちはとても親切で、私達が分からないとき、丁寧に教えてくれたり、一緒に作業して、とても楽しく

炊き出し班として、仕事ができたと感じます。黙祷をしている時には命の大切さを感じました。

そして、このボランティアでは災害の恐ろしさ、人の優しさ、命の大切さを知ることができました。地震や津波はいつ起こるか分からないので、このことはしっかりと伝えて、絶対に忘れてはいけないことだと思います。このボランティアに参加出来て本当によかったです。

定時制3年男子 ボランティアの感想

今回のボランティアに参加しようと思った理由は自分がボランティアの目的地である気仙沼に近い陸前高田市出身で何かしたいとずっと思っていたからです。私が担当になったのは駐車場で車の誘導でした。誘導して車から降りてきた人達に挨拶をすると必ず「ご苦労様」と言って下さってとても嬉しくやり甲斐を感じました。高校生活でボランティア活動をする機会はもう無いかもしれませんが、今後卒業後にも個人的にボランティア活動に少しでも参加したいと考えています。学ぶことが多く、とても有意義な活動でした。

3年女子 ようやく。

去年は部活で行けなかった分、今回ようやく参加することができて、まずとても嬉しかったです。どんなことをするのかとてもドキドキしていました。イベントのスタッフとして豚汁やご飯を配りたくさんの方と交流もできたし何より皆さんとても元気で私達の事を温かく迎えてくれてとても感動しました。2時46分に一斉に追悼式をやった時むしように涙がとまりませんでした。ブザーがなっている間あの時の光景などを思い出してしまいとても心に思うものがありました。しかしその後のイベントではより皆で楽しんでいし音楽では会場が一体となって純粋に楽しんでとてもいい機会を頂けたなと思います。まだまだ遺体が見つかってなかったり復興していないところだったりあるはずです。こういったボランティアがあるのなら私はこれからも参加していきたいと思いました。今回の機会を糧に自分自身の成長に繋げていきたいです。

1年男子 ボランティア感想

私は、今回のような被災地でのボランティア活動は初めての経験でした。もちろん被災した地域へ行くのも初めてのことで、今までTVなどを通して見ていた風景を実際に見ると、考えさせられることが沢山ありました。

特に建物の三階部分が無くなっている風景はとても心に残っています。もし私が通っている三沢高校もこうなってしまったらと想像すると、とても耐えられません。復興に向けて頑張っている地元の人々はとても強いなと感じました。

有名な一本松についてのお話も聞きましたが、地元の人々の一本松をめぐる不満点などもわかり、とても難しい課題だなと考えました。

そして海の盆本番では、外国の方も見かけました。数名のフランス出身の方達とお話をして、ボランティア活動を通して国際交流ができ、今までよりもっとフランスという国を身近に感じる事ができたと思います。

私は今回のボランティア活動を通して、特に地元の人々の活発さが印象に残っています。被災して、だから諦めるではなく、ピンチをチャンスだと思って前向きに行動する大切さを学びました。私たちの活動が少しでも被災者の方々へのエールになったらいいなと思います。

2年女子

初めて、震災復興ボランティアに参加しました。三陸海の盆の受付をわたしはやりました。初めはただただパンフレットを渡してるだけでした。でも、地元のおばさんに「この人シャイだから笑顔で話しかけてあげて」と言われました。それまでは、同じボランティアをやってる人や、パンフレットをもらいに来た人が怖い人なのかなと思ってたけど、笑顔で接するととても優しい人たちばかりでボランティアに参加してよかったなと思いました。自分の家や家族と離れたりととても悲しいことを経験したのに、復興するという目標をかかげ頑張ってる皆さんはとてもかっこよく見えて、とても感動しました。

2年男子

今回のボランティア活動を通して、被災当時の事をより詳しく知ることができました。

避難所生活の話聞き、自分が想像していたより大変だったのだと思いました。トイレや風呂が大変そうだなとは思っていましたが、食べ物のことより大変な事だとは思っていませんでした。

亀の湯のおばさんにも、二階まで津波が来たと聞きました。津波が来る前までは、銭湯ももっと大きくて構造も今とは全然違ったそうです。砂利がたくさん入って使えなくなったとも聞きました。ですが、この町には漁師が、多くいるから、小さくてもいいから銭湯を続けようと思ったそうです。自分も大変なのに町の人たちのことも考えていてすごい人だなと思いました。

いろんな話が聞け、郷土芸能も見ることができてとてもいい経験になりました。

1年女子 ボランティア感想

私は今回のボランティアに参加してとてもよかったと思っています。

震災があってから始まったお祭なのでもっと暗いものだと思っていましたがとても活気があって楽しいお祭でした。

私は国際交流のところでボランティアとしてコーヒーを売るお手伝いをしました。

とても優しく仕事のやり方を教えてもらい、楽しくお手伝いをすることができました。

お祭に来ている方々が楽しんでいるように見えたのはまごころネットの方たちやお祭を成功させようという人達の気持ちが形になったものだと感じました。

人と人との繋がりがとても大切だと学びました。

充実した時間を過ごせたと思います。

2年女子

イベントでたくさんの伝統芸能が見ることができて楽しかったです！特に太鼓の演奏が力強くて感動しました。受付はわからないことがあってスムーズにいかないこともあったが、色々な人に笑顔で対応できたと思うのでよかったです。

2年女子 ボランティア感想

今回初めてこういったボランティアに参加しました。私は被災地を画面越しでしか見たことがありませんでした。自分の目で見る仮設住宅や一本松はテレビなどで見るよりもより生々しく、津波の恐ろしさを物語っていました。ボランティアの際に来てくれた方が「楽しかったよ」と声をかけてくださいました。今回のボランティアで少しずつ復興に向かっている地元の方々の助けに少しでもなれたのなら参加して本当に良かったと思いました。一方で地元の方が「前はここに壁があったのに今じゃここまで波がきているんだね」と言っていて人ごとではないと改めて実感させられました。震災からもう四年たちました。まだ四年しか経っていません。最初の頃は復興復興と盛り上がっていたメディアや社会も今では震災のことが薄れてきているような気がしてなりません。これから先の未来へこの震災のことを伝えていくにはボランティアに参加して直に被災された方々や地元の方と触れ合う、ということが誰にでもできることだと思います。若い人達も積極的に参加していくことで震災のことを考えるきっかけにもなるし伝えていくこともできるかなと思います。そのためこれからこういったボランティアにもっと参加していきたいと思いました。